

第36回 FM八女番組審議委員会 議事録

- 1 開催日 平成30年 2月21日 (水) 午後4時00分
- 2 開催場所 FM八女 会議室 (八女市役所黒木支所2階)
- 3 出席者 出席者総数 6名
委員総数 7名
出席委員 (3名) 酒井裕樹 木下靖之 加藤大輔
レポート提出委員 (4名) 青木歳男 荒川真美 吉武信博
篠原加代
放送事業者側出席者 (3名) 小柳幸博 高木祥平 中島直樹
- 4 議題 音楽番組「きらきらミュージックBOX」
2月1日 (木) 10:00~11:00 放送分
- 5 議事の概要 放送事業者が事前にCDに収録し、資料とともに各委員へ届けていた。
上記の番組について、モニター後の感想を全委員に述べていただいた。
- 6 番組内容 曜日ごとにジャンルを変えてお送りする音楽番組
- 7 審議内容
 - ・ニュースは聴きやすく、丁寧に伝えられていて良かった。しかし、丁寧すぎる為、硬い印象も受けた。八女茶のニュースは地元のラジオ局らしく良い選択だった。
 - ・天気予報は、伝え方も声も心地良かった。
 - ・番組は雑学など「へえ」と思うところが多かった。パーソナリティ2人の息も合っていた。
 - ・メンデルスゾーンの話の入り方の流れが良く、クラシックの成り立ちから、オペラ・交響曲への発展と、解説もわかりやすく興味深く聴くことができた。
 - ・曲にかぶせてのコメントから次の曲への切り替えといった流れもスムーズで良かった。曲がかかっている時間に説明やトークが重なっていることが多かったが、個人的にも気にならないし、「曲をもっとちゃんと聴きたい」という声がないのであればこのペースで続けていくべきである。
 - ・「Discover the Classics」のコーナーは前半と視点が異なり、ギター編曲でこのように変化するのかと気持ちよく聴くことができた。

・曲については心地よいという意味で眠くなってしまい、運転中であればチャンネルを変えるかもしれないと思った。夜の寝る時間あたりに相応しいのではと思った。

・パーソナリティの松尾さんは本当に知識があり、他にも得意分野があるならば他のコーナーも聴いてみたいと思った。

・GoodComing「ユビノサキへ」のパワープレイに関しては、地元出身アーティストであることや、主題歌となった地元ロケの映画の放映開始が近いことから、とても良い取り組みだと思った。毎月というわけにいかなくとも、年数回は同様のことをしてもいいと思う。

・全体を通じて、ゆったりとしたトークのテンポも良く、またクラシックに興味が無い方にも楽しんでもらえる番組作りができていると感じた。「この曲は何だろう」から「曲名は知らないがなんとなく聴いたことがある」「あー！知ってる曲！」とリスナーを感じる構成は見事だった。パーソナリティのマダム陽子さんのクラシックを楽しもうとする姿勢、松尾さんのクラシックを楽しんでほしいという気持ちが番組を通じて伝わってきた。今後も人気の番組となると思う。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

9 次回の番組審議委員会

日時 4月25日（水） 午後4時00分

場所 FM八女 会議室

社名	一般財団法人 FM八女
----	-------------